

謹賀新年

地震や津波に強いまちづくりを
大規模かつ集中的に推進



牧之原市長
西原 茂樹

市民の皆さまには輝かしい新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。昨年末の衆議院選挙で政権が交代しました。国民が安心できる生活のために地方の声をしっかりと受け止め、景気経済対策などの効果が早期に発揮されることを期待します。さて、本市の最大の課題は「地震津波」への備えです。昨年7月から、予想される巨大地震や津波に対応するため、自治会をはじめ、県や警察、消防団などと協働で「津波防災まちづくり計画」の策定に取り組んでいます。各地区の男女協働サロンなどの意見に基づき、3月までに計画づくりを終え、第一段階として平成27年度までに避難路や避難施設の整備など、地震や津波に強いまちづくりを大規模かつ集中的に進めていきます。皆さまの関心が高い浜岡原発につきましても、「確実な安全・安心が将来にわたって担保されない限り、永久停止にすべき（議会決議）」との主張を続けていきます。また、本年は牧之原市相良消防署がスタートするなど、暮らし続けることができるまちづくりに向けて、積極的に取り組んでまいります。産業振興では、市内で初めて「世界お茶まつり2013春の祭典」として、大茶会やウォーキングなどの多彩なイベントが5月に開催されます。特産品のお茶をはじめ農水産業、商工業を応援します。また、新産業としての火力発電の誘致、洋上風力、波力発電などの新エネルギーの導入促進、実用化にも挑戦します。念願でありました富士山静岡空港と相良牧之原IC、御前崎港を結ぶ交通網の完成や新東名高速道路の開通を機に物流拠点としての期待が高まるなど、地域は飛躍に向けた準備を整えました。本年も、皆さまと共に「幸福実現都市」を目指して全力で取り組んでまいりますので、よろしくお祈り申し上げます。



牧之原市議会議長
小杉 康男

明けましておめでとございます。市民の皆さまには、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日ごろは市議会に温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、一昨年の東日本大震災は東北地方だけでなく、日本全体に大きな打撃を与えました。東北地方においては、いまだに多くの方々が仮設住宅などで非常に不便な生活を強いられていることから、一日も早い復興・再建を願っています。本市においては、震災を境に懸念されていた大手企業のリスク分散による生産部門の移転が現実となり、税収や雇用の問題など課題が山積し、厳しい状況です。市長、議会、市民が一体となり取り組んでいかなければなりません。私も議長に就任して一年が経ちました。市民の皆さまに議会改革をお約束したとおり、少しずつ

ではありますが、改革に取り組んでおります。まず、議会基本条例の検証をすす中で、市民のために公平公正に活動することを目的とした政治倫理規程の見直しを行いました。市民目線で疑惑の念を持たれないよう改正をしたもので、内容は不当に議員の権力や影響力を行使しないことや、議員としての事業請負や納入契約などの受注はしないことを決めました。また、本会議での一般質問については、インターネットによる録画配信を始め、市のホームページで閲覧することができるようになりました。議会本来の役割である行政チェックや、市民の皆さまの意見を行政に反映していくよう、積極的な政策提言への取り組みにも努めております。本年も市議会に対しまして市民の皆さまのますますのご理解とご協力をお願いするとともに、皆さま方のご健康とご多幸をお祈りいたしまして、新年のご挨拶といたします。

今後、議会改革を進め
市民目線で行政チェックに重点を